

華やかににぎやかに

第16回 ニューイヤーコンサート



伊那の龍丘の合唱

一月二十三日(日)に竜丘公民館でニューイヤーコンサートが開催されました。

今年で第十六目を迎えたコンサートには、保育園から高校生まで若者が参加し、寒さが厳しい季節に心温まる賑やかなコンサートとなりました。

会場に入りきれないほどの観客の中、時又保育園の園児によるマーチングバンドで華やかに幕が開きました。「友だちになるために」など三曲を元気に明るく演奏しました。

続く大人の学校もみじくラブでは、日頃の練習の成果を歌に込め合唱をしまし「春の小川」では会場と一緒に口ずさむ声が聞こえました。

竜丘小学校五年生がベートーベンの「よるこびの歌」をリコーダーの合奏とドイツ語の歌詞で合唱しました。会場にも歌詞カードが配られ皆で合唱しました。創楽会では、オリジナル歌曲の独唱で島崎藤村の「春の歌」など二曲を歌いました。



ある合唱で「線路がない歌」など三曲を、大人の学校ハイモニカクラブでは、主旋律や伴奏などのパートに分かれ、日頃の練習の成果を披露しました。

休憩の後、大正琴のグループ、Gストリングス琴姫が「線路は続くよどこまでも」など三曲を合奏し、大正琴の

奏で「贈る言葉」を演奏し、会場も一緒に歌いました。信州飯田岳風会の皆さんによる詩吟が披露された後、飯田高校合唱班八人によるアンサンブル「I've got six Pence」が始まると、会場は一気に静かになりました。さすがに高校生「うまい」と唸らせる歌声に感嘆する声も聞かれました。

緑ヶ丘中学校合奏部による木管や金管によるアンサンブルを演奏し、大正十二年四月十二日、野口雨情が作曲した中山晋平と共に竜丘へ来村した時の作品です。当時、竜丘は両氏を迎え、自由教育が開花していました。

その頃の竜丘地区は、養蚕が経済の柱であったようですが、この詩によく表現されています。雨情の子息野口存弥氏より、自筆の原稿が寄贈されましたので当時の教育文化の足跡を残すため、詩碑として、昭和五十六年三月に建

最後は、鈴岡太鼓子ども連が元気よく演奏して幕となりました。

恒例となった行事ですが、地域で活動するグループなどの発表や、子どもからお年寄りまで幅広い世代の交流の場として盛り上げていきたいものです。

立されました。詩碑は現在、小学校体育館の東玄関のところにあります。

伊那の龍丘
伊那の龍丘
桃の花盛り
春蚕掃きませうか
龍口子編もか
春蚕毛子になった
日和はよいし
築たたい
桑摘み頃よ

グループ紹介 日常生活の問題解決目指して 竜丘日本語教室友好会

竜丘公民館の学級として、平成十一年三月二日より好友会(はおゆうかい)「竜丘日本語教室」がスタートしました。当時は中国帰国者を中心に日本語を習得するための講座として開催していましたが、平成十三年一月より「竜丘日本語教室新聞」を月二回作成し、今現在も継続して発行しています。現在は国際結婚来日者の受講が多くなっています。

中国語を母国語としていらっしゃる方々にとつての問題は、言葉はもちろんですが、生活習慣や文化の違いも生活していくうえで問題となっています。このことが原因で住民とトラブルになるケースもあります。現在では小学校にも、中国語を母国語とする親を持つ多くの子どもたちが通っていますが、お便りが読めない等の問題が発生しています。

竜丘日本語教室はこうした様々な生活に関する問題を解決するため開催しています。現在、この様な日本語教室を開催している地区は少なく、飯田市だけでなく飯田市外からの受講を望む声もあり、各地区でこの様な教室が開



催されることが望まれます。

環境委員会が発足して、初めての住民対象の環境講演会が二月六日開催され、四十名余の皆さんが熱心に耳を傾けていました。講師は長野原在任の飯田市環境アドバイザー・小池晴人氏。地球規模の話に始まり、地元の実態に至る話は、住民一人一人が今一度原点に戻り、考えなくてはならないと感じました。

不法投棄の問題や、分別に関する昨年の組成調査の結果、当竜丘が全市の中



でワースト1という残念な結果で、燃やすゴミの中に三十五・六%もそうでないものが混入していた現実、抜き打ち調査でまたま

「ゴミの分別と削減」環境講演会を初開催

環境委員会が発足して、初めての住民対象の環境講演会が二月六日開催され、四十名余の皆さんが熱心に耳を傾けていました。講師は長野原在任の飯田市環境アドバイザー・小池晴人氏。地球規模の話に始まり、地元の実態に至る話は、住民一人一人が今一度原点に戻り、考えなくてはならないと感じました。

不法投棄の問題や、分別に関する昨年の組成調査の結果、当竜丘が全市の中

正しい歩き方で健康を

福祉健康委員会 健康推進部長 中島要子さん

一月二十七日と二月十七日の二回にわたり健康推進委員・公民館体育委員などを対象に健康づくりのための運動講演会を行いました。講師に健康運動指導士の牧内隆雄さんを迎えて、講演・実技指導にこわえ、参加者の足の裏測定を行いました。

今回は足裏測定と講演では自分の歩き方、重心の取り方について振り返りができ、適正な靴の選び方・履き方・歩き方・毎日行いたい足の手入れ方法を知ることができました。

早速、足の手入れを毎日行い、正しい靴の履き方とウォーキングを続けてみて、足裏の変化を確認したいと思われました。

寒い時期、せつかくのウォーキングを中断してしまう方も多そうです。メタボ対策と、健康づくりに「食事と運動」は欠かせません。適した靴と体を痛めない正しい歩き方で健康づくりを続けたいものです。



先日、放課後子ども教室の調査に東京大学教育学部の学生が竜丘を訪れました。子どもたちの居場所づくりを目的に子ども教室が開催されている自治体が多く、竜丘もその一つとして調査対象となったようです。

竜丘放課後子ども教室は、子どもたちの社会性、創造性を育てる事を重視して



子どもに関する事件が起きないように、子どもに関する事件が起きて、すぐに対処できるように、日々の取り組みが必要です。

子どもに関する事件が起きないように、子どもに関する事件が起きて、すぐに対処できるように、日々の取り組みが必要です。

安心安全は日々の取り組みが重要

子どもの安全を守る活動

まず、調査報告の中でも、子ども教室が子どもたちの安全安心な居場所を作っているというよりも、むしろ「子どもを見守る会」「竜丘ぶらきよる運動」やPTAの「丘の子安全マップ」の作成等、日々の取り組みにより竜丘の安心安全が守られていると言えるかとまとめられています。

子どもに関する事件が起きないように、子どもに関する事件が起きて、すぐに対処できるように、日々の取り組みが必要です。

